

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 今年も過ぎていきます

合併後 10 年目を迎えるにあたり、本市の形が少しずつ整ってきました。昨年は山陽消防署、今年には山陽小野田市民病院とゴミ処理最終処分場、有帆川大橋（湾岸道路の一部）が完成。厚狭の複合施設の建設も進んでいますし、埴生の公共施設の再編整備も、埴生小学校の耐力度調査のため長い中断がありました。その結果が出ましたので、また意見交換会を再開します。火葬場建設の検討作業も、市民説明会を含めて順調に進み、パブリックコメント（広く市民の意見を聞く公式手続）を近く実施します。

合併直後は、大変苦しい時期がありましたが、現在、実質公債費比率など財政指標は健全化し、本市の財政状況は、回復に向かいつつあります。一方で、市税はこの先大きな伸びは期待できないこと、加えて、合併から 10 年が経過する平成 27 年度からは、普通交付税の優遇措置の段階的な縮減が始まり、本市の財政状況も、決して楽観視できません。

こうした状況にある今、より効率的・効果的な行政運営体制の確立が急務で、合併特例債の活用期限（平成 31 年度）までに、まちづくりの基礎をしっかりと固めておきたいと考えています。歳入の増加が見込めない中で、まちづくり事業を推進していくには、財政規律の堅持が必要不可欠です。市民サービスへの影響を考えながら、不断の行財政改革に取り組んでいきます。

■ 山陽小野田市誕生 10 周年記念事業を実施します

来年 3 月 22 日は、山陽小野田市が誕生して満 10 周年を迎えます。本市では、平成 27 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの 1 年間を事業期間とし、10 周年記念の諸事業を実施します。

記念日当日に文化会館で開催する「市民ふれあいの集い」（記念式典）はもとより、本市の庁内推進会議、市民団体の代表者、若者や学生等で、連携や情報交換を図りながら、各種事業の準備を進めています。

今年暮れの「歌って祝おう！第九“歓喜の歌”」をはじめ、有名人の記念講演や音楽イベント、テレビ番組「出張なんでも鑑定団」など、楽しく盛りだくさんの行事を予定しています。みなさん、どうぞ楽しみにしてください。そして、この 10 年を振り返り、新しい次の段階の本市の建設に臨みたいものです。

